



石油小形給湯機 取扱説明書 保証書付

品名	型式名
OQB-407Y	OQB-407Y(OQB-407YA)
OQB-407YS	OQB-407YS(OQB-407YA)
OQB-407F	OQB-407F
OQB-407FF	OQB-407FF
OQB-307Y	OQB-307Y
OQB-307YS	OQB-307YS(OQB-307Y)
OQB-307F	OQB-307F
OQB-307FF	OQB-307FF

もくじ

特に注意していただきたいこと	2
各部のなまえ	
機器本体	6
台所リモコン<RC-7626M>	8
浴室リモコン<RC-7606S>	9
使用前の準備	10
使いかた	
お湯を出す/お湯の温度を調節する	12
お風呂のお湯はりをする	14
時計を合わせる・時計を表示させる	16
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす	17
操作確認音の消しかた、鳴らしかた	17
表示の節電を切り替える	18
冬期の凍結による破損予防	19
日常の点検・手入れのしかた	21
定期点検(有料)	23
故障・異常の見分けかたと処置方法	24
部品交換のしかた	28
仕様	29
アフターサービスについて	30
据え付け	31
無料修理保証書	裏表紙

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

*この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

*保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

*この取扱説明書(保証書付)は工事説明書と共にいつでもご覧になれるところに保管してください。

株式会社 **ノーリツ**

SEA8832⑦



SEA8832 1

特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

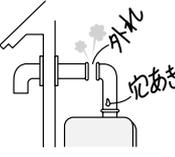
■ 危害・損害の程度による内容の区分

 警告(WARNING)	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
 注意(CAUTION)	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

 高温注意	 感電注意	 必ずおこなう	 電源プラグを抜く	 禁止	 ガソリン禁止	 接触禁止	 むれ手禁止	 分解禁止
---	---	---	---	---	---	---	--	---

 **警告(WARNING)**

<p> ガソリン厳禁 灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。</p> <hr/> <p> 給排気筒トップの閉そく危険 【屋内設置・強制給排気形の場合】</p> <p>給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。</p>  <hr/> <p> 排気筒トップの閉そく危険 【屋内設置・強制排気形の場合】</p> <p>排気筒が詰まったり、ふさがったまま使用しないでください。閉そくしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。</p>	<p> 給排気筒外れ危険 【屋内設置・強制給排気形の場合】</p> <p>給排気筒(管・ホース)に穴があいたり、外れたりしたまま使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。</p>  <hr/> <p> 排気筒外れ危険 【屋内設置・強制排気形の場合】</p> <p>排気筒に穴があいたり、外れたりしたまま使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。</p> 
--	---

⚠ 注意 (CAUTION)



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、排気口・(給)排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。



高温注意

*シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
*入浴するときは、手でお湯の温度を確かめてから入浴してください。やけどのおそれがあります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物(紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など)を置かないでください。火災のおそれがあります。



分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。



異常時使用禁止

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

1. 給湯栓を閉める
 2. 運転スイッチを「切」にする
 3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
 4. 販売店または、弊社窓口に連絡する
- 火災・感電・故障などの予防のため。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。火災や予想しない事故の原因になります。(P20)



オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると、感電や火災の原因になります。



高温出湯に注意

湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意してください。やけどのおそれがあります。



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。



この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です

他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。



囲い禁止

機器や排気口・(給)排気筒トップを波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと-2

(つづき)



電源プラグはぬれた手で
さわらない



感電の原因になります。



ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより火災のおそれがあります。



子供を浴室内で遊ばせない

子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。



機器の給気口にほこりが目詰まり
していないことを確かめる

給気口は定期的に掃除してください。目詰まりにより、不完全燃焼から人身事故につながるおそれがあります。



変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

お願い

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン(本体操作部)に、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

太陽熱温水器との接続時の注意

太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性がありますので、注意して使用してください。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

凍結による破損を予防する(☞P19,20)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

わからない場合は、販売店または、弊社窓口に確認してください。

積雪時には排気口・(給)排気筒トップの点検、除雪をする

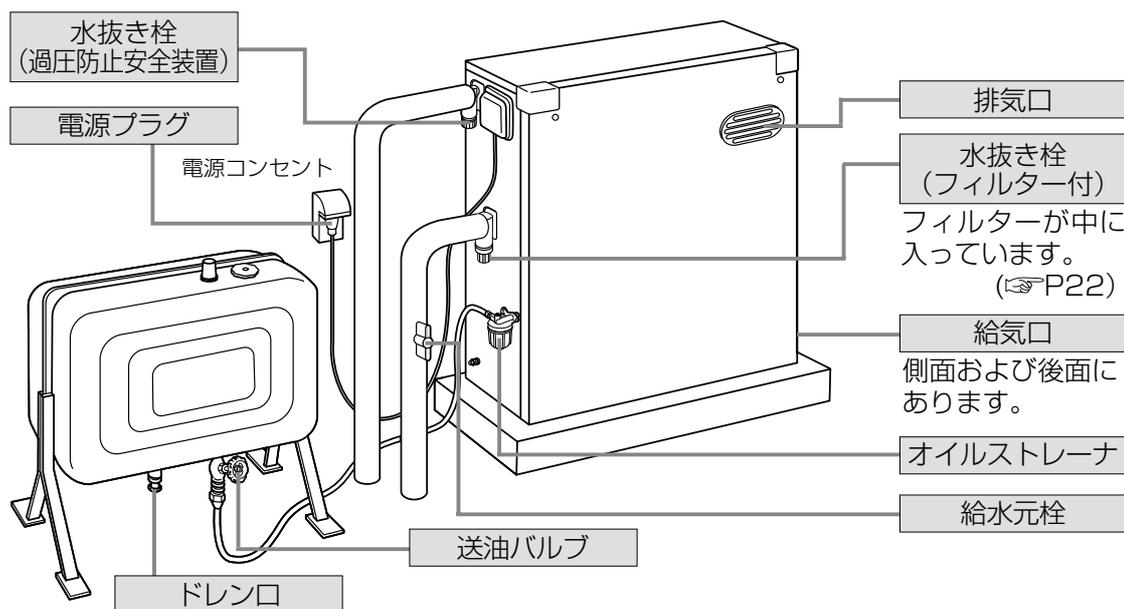
雪により排気口・(給)排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえ-1

機器本体

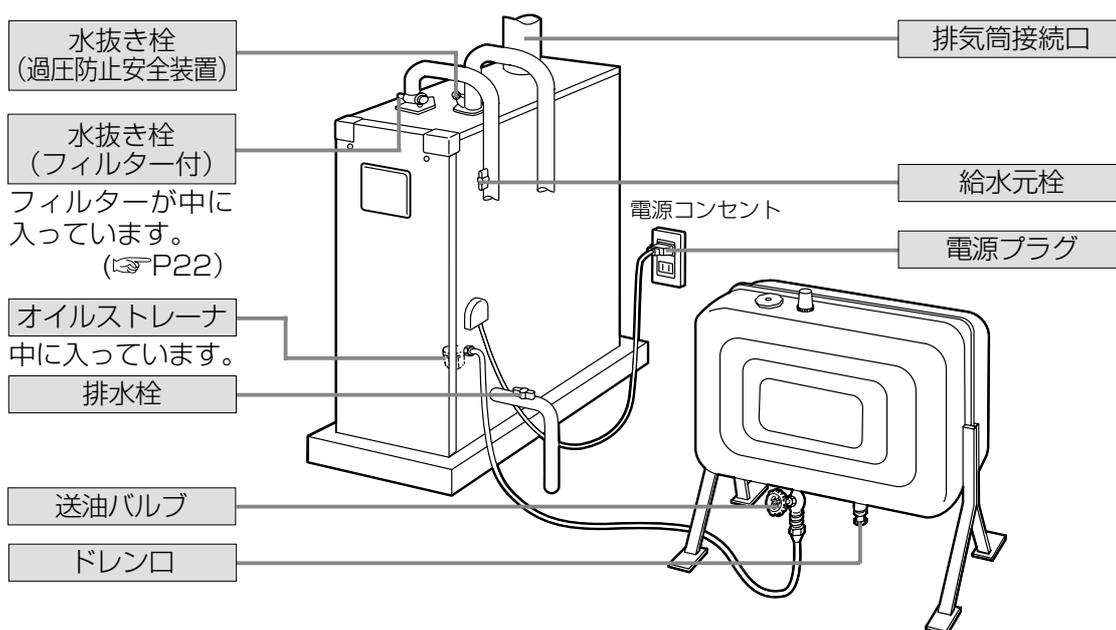
【屋外設置形】

OQB-407Y,OQB-407YS,OQB-307Y,OQB-307YS

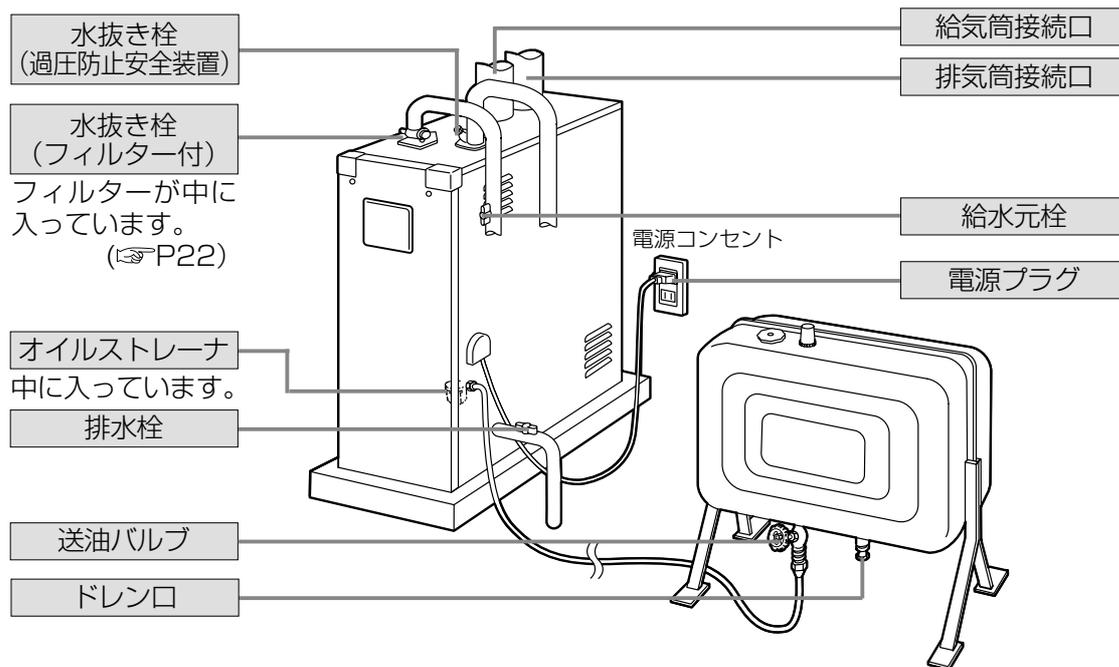


【屋内設置形・強制排気形】

OQB-407F,OQB-307F



【屋内設置形・強制給排気形】
QQB-407FF,QQB-307FF

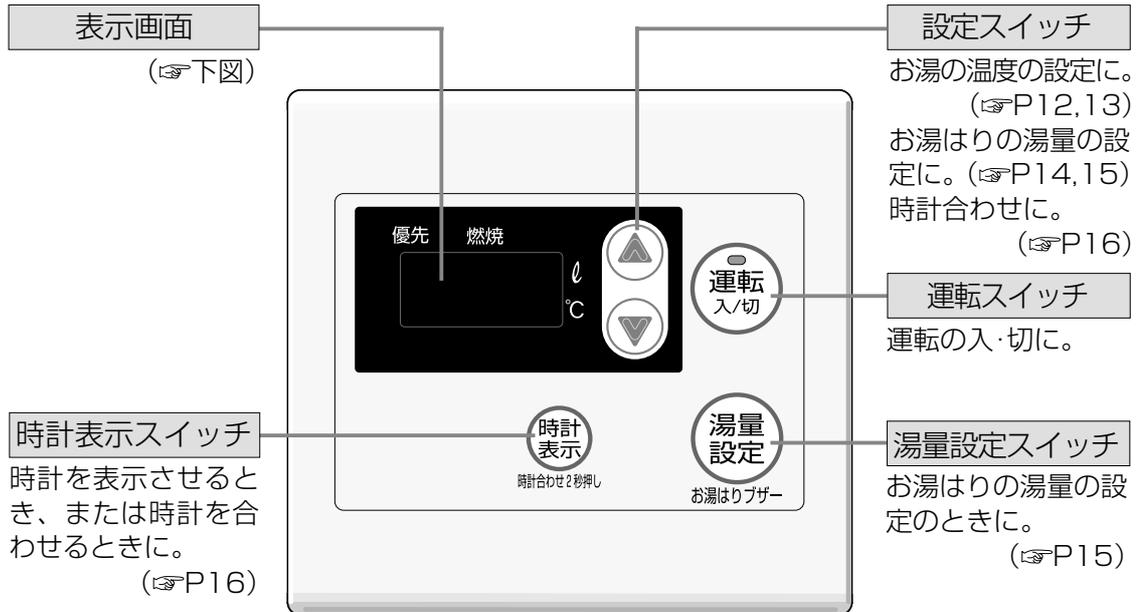


各部のなまえ-2

台所リモコン(本体操作部) <RC-7626M>

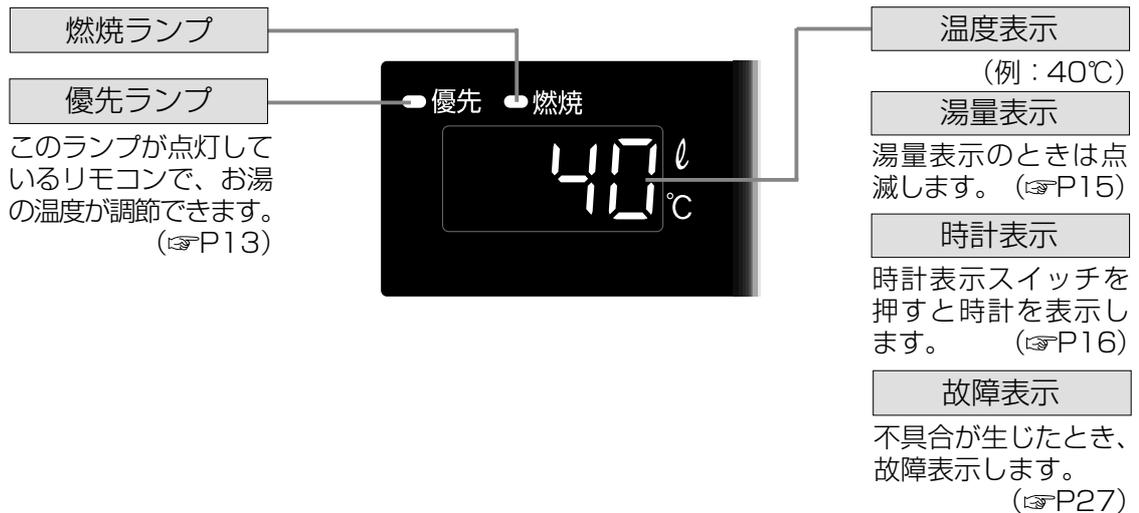
(台所などに取り付けます)

※本取扱説明書では、本体操作部もリモコンとして説明しています。



▶▶▶ 表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。実際の運転の時は、該当部分を表示します。

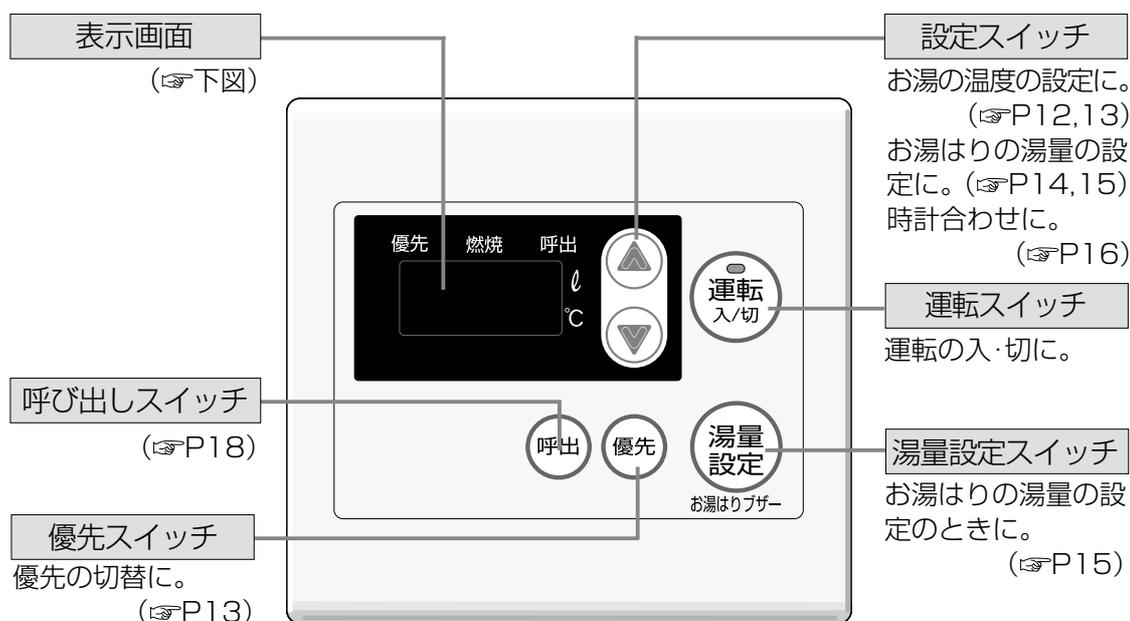


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

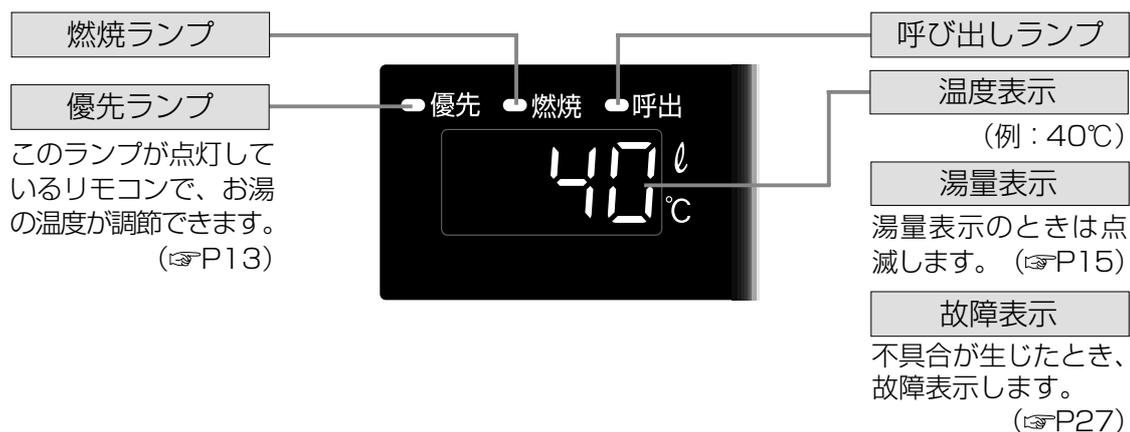
浴室リモコン(別売品)<RC-7606S>

(浴室に取り付けます)



▶▶▶ 表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

使用前の準備

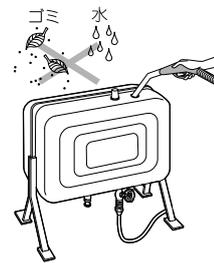
- ⚠ 警告**  **(給)排気筒外れ危険**
排気筒・給排気筒(管・ホース)に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。
- ⚠ 注意**  **油漏れ注意**
オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。油漏れにより、火災の原因になります。
- ⚠ 注意**  **排気口・トップ周辺の確認**
排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。
- ⚠ 注意**  **可燃物禁止**
機器の上や周囲に燃えやすい物(紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など)を置かないでください。火災のおそれがあります。

燃 料

- ⚠ 警告**  **ガソリン厳禁**
灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

給 油

- オイルタンクへの給油の際の注意
 - ・給油は、必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
 - ・水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
 - ・給油が終わった後、給油口のふたは、確実に締めてください。
 - ・こぼれた灯油は、よく拭きとってください。
- オイルタンクを空にしないでください
 - ・空にすると、着火がスムーズにできない場合があります、その際に空気抜きが必要になります。



<空気抜きのしかた>

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかったり、故障表示「11」「12」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 運転スイッチを「入」にする。
3. 給湯栓(お湯側)を開けて、お湯を出す。

手順2～3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

燃焼ランプが点灯し、お湯になれば正常です

【故障表示「11」「12」が出る場合】
いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

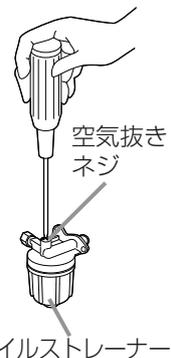
5～6回繰り返しても、故障表示が出て着火しないときは

【屋内設置形の場合】

機器の不具合の可能性もあるため、販売店に連絡してください。

【屋外設置形の場合】

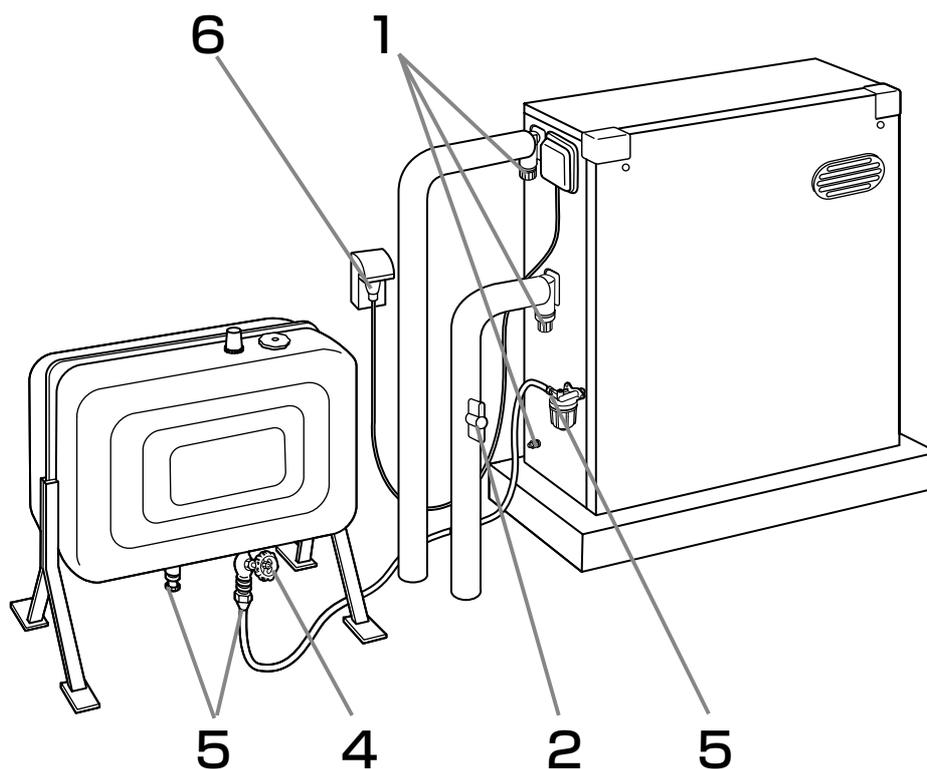
1. オイルストレーナーの空気抜きネジをゆるめる。
(オイルストレーナーの位置(☞P6～7))
このとき、灯油があふれ出てきたら空気抜きが完了です。こぼれた灯油は、よく拭きとってください。
2. 空気が抜けた後は、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付ける。



運転開始前の準備と確認

準備と確認を、次の1~7の手順でおこなってください。
(OQB-407Yで説明していますが、その他の機種でも手順は同じです。)

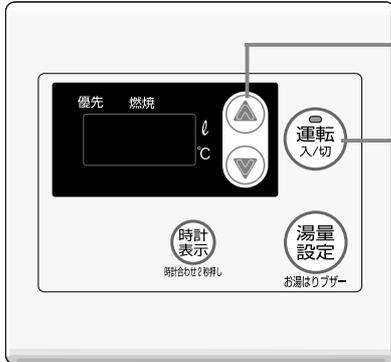
1. 機器の水抜き栓、排水栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開く。
3. すべての給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。
4. オイルタンクの送油バルブを開ける。
5. オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認する。
6. 電源プラグをコンセントに差し込む。(交流100Vコンセント)
7. 対震自動消火装置をセットするため、リモコンの運転スイッチを押して「入」にし、再度押して「切」にする。(自動的にセットされます)



使いかた

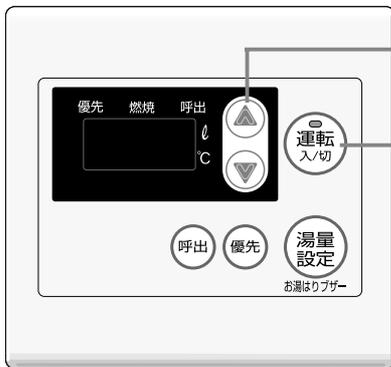
お湯を出す/お湯の温度を調節する

(台所リモコン)



2
1

(浴室リモコン / 別売品)

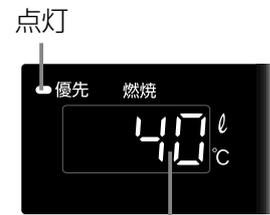


2
1

ここでは台所リモコンでご説明します

< 運転スイッチ「切」のとき >

1 運転スイッチを「入」にする



前回に設定した温度 (例: 40℃)

やけど予防のために

注意

高温注意

給湯使用中の湯温設定注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確かめてから入浴してください。やけどのおそれがあります。



シャワー使用中などには、使用者以外は湯温設定を変えたり、リモコンの優先(次ページ)を切り替えないでください。突然、高温設定された湯が出ると、やけどのおそれがあります。

- 60℃、75℃に設定したときは温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して、高温が出ることをお知らせします。
- 60℃、75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。



給湯量と温度の早見表 ※()内は湯、水を混合した値です。

<407シリーズ>

温度	水温	給湯量 ℓ/min		
		8℃(冬期)	18℃(春秋期)	28℃(夏期)
40℃		約21.0	約30.5	(約55.5)
48℃		約17.0	約22.5	(約34.0)
60℃		約13.0	約16.0	約21.0
75℃		約10.0	約11.5	約14.0

<307シリーズ>

温度	水温	給湯量 ℓ/min		
		8℃(冬期)	18℃(春秋期)	28℃(夏期)
40℃		約16.0	(約23.0)	(約43.0)
48℃		約12.0	約16.0	(約23.0)
60℃		約10.0	約12.0	約16.0
75℃		約 8.0	約 9.0	約11.0

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで 温度を調節する

(変更しないときは温度を確認する)



あつくなる



ぬるくなる

点灯確認



3 給湯栓を開ける



燃焼時 点灯



4 使用後は 給湯栓を閉める



消灯



お湯の温度の目安

(℃ : 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
※食器洗いなど				シャワー、給湯など				給湯など				高温			

※307シリーズは32,35℃は設定できません。
<初期設定(工場出荷時)=40℃>

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度の約10℃アップに設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転を切り、再使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>

(浴室リモコンがある場合) (設定温度は例です)

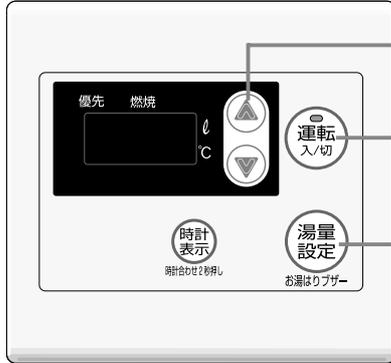
	湯温調節できない状態	→ 優先切替する →	湯温調節できる状態
浴室リモコン	点灯していない 	優先スイッチを押す 	点灯 
台所リモコン	点灯していない 	運転スイッチを「切」(消灯)にして 再度「入」(点灯)にする  	点灯 

※お湯はり中にこの操作をしないでください。

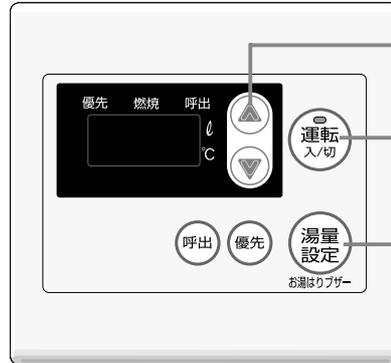
使いかた

お風呂のお湯はりをする

(台所リモコン)



(浴室リモコン / 別売品)



ここでは台所リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

<一度設定すると記憶します>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。(給湯栓の蛇口の部分は開けておく)

1 運転スイッチを押す



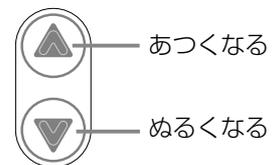
温度表示が点灯します。

点灯



前回到設定した温度(例：40℃)

2 設定スイッチで温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



点灯確認



やけど予防のために

優先ランプのついているリモコンの温度でお湯はりします

浴室リモコンで温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、お風呂もその温度でお湯はりします。

台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

<お湯はりブザー>

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくとし、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。



(お湯は自動的に止まりません)

温度の目安

(℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

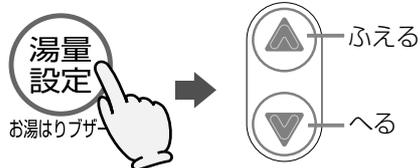
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定(工場出荷時)=40℃

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅)、設定スイッチで調節する。



40~260(20ℓきざみ)・300・350・400・990ℓの値で調節できます。
(目安の量)

④ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。



お湯はりの湯量 点滅(例：180ℓ)
※点滅中に調節できます。
※10秒後、温度表示に変わります。

4 給湯栓を開ける



点灯



※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

ブザー(ピッピ音)が鳴ったら設定量をお湯はりしました。お湯を止めてください。



④ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。

消灯

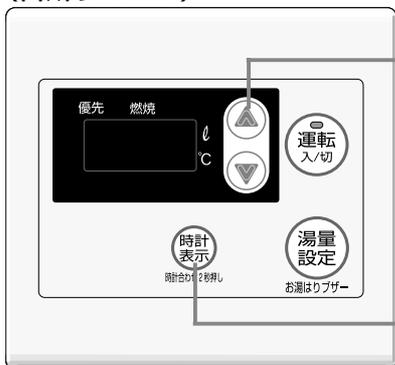


- 浴室リモコン・台所リモコンのどちらに優先があっても関係なく、湯量の設定ができます。
- お湯はりに中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていなくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた

時計を合わせる・時計を表示させる

(台所リモコン)



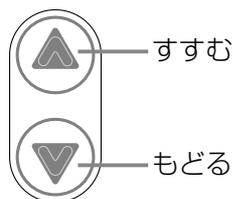
運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計表示ができます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約2秒押す
(PM 0:00が点滅するまで)



2 設定スイッチで時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、表示が消えます。

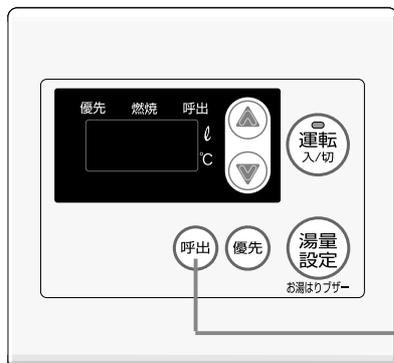


- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- お湯の使用や、60℃・75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると PM 0:00 に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。
- 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた(浴室リモコンがある場合)

浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

(浴室リモコン / 別売品)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。(インターホンではないので話せません)



呼び出しスイッチを押す



呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

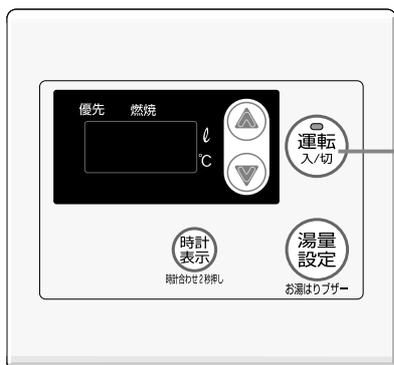
台所リモコンでチャイムが約3秒間鳴ります。

使いかた

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

運転「切」の状態
運転スイッチを約5秒間押す



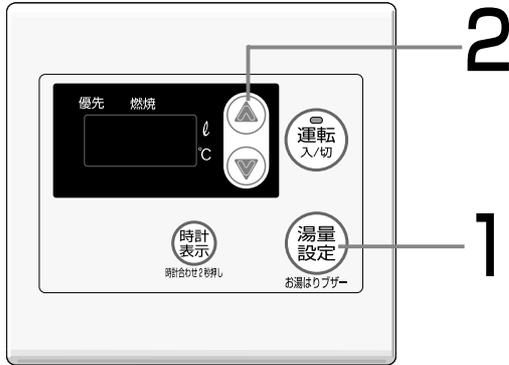
呼び出しチャイムおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

操作確認音を鳴らすようにするときは、約2秒後に「ピッ」と音がします。操作確認音を消すときは、音はしません。

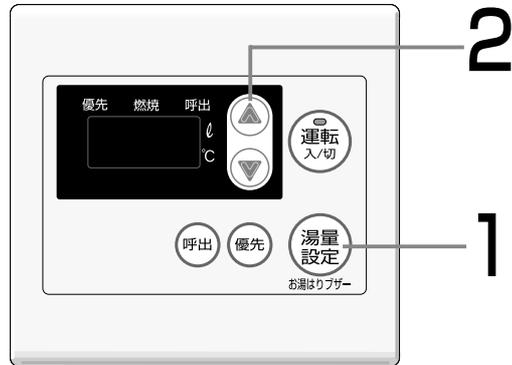
使いかた

表示の節電を切り替える

(台所リモコン)



(浴室リモコン / 別売品)



それぞれのリモコンで設定してください

1 運転「切」の状態
湯量設定スイッチを
約2秒押す



2 設定スイッチで変更する

※初期設定(工場出荷時) = する

する	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯) 再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。
しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。



3 そのまま放置する

そのまま約30秒放置しておくと、運転「切」の状態に戻ります。
すぐに機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

- 給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。
- 台所リモコンの場合、時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた

冬期の凍結による破損予防-1

お願い

- *暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- *凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。

(運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。)

*給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

■冷え込みが厳しいとき*は、さらに以下の処置をする。

(※外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日)

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 送油バルブを閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P5)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。



*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

*この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. 給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、P11「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

使いかた

冬期の凍結による破損予防-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きによる凍結予防をおこなってください。

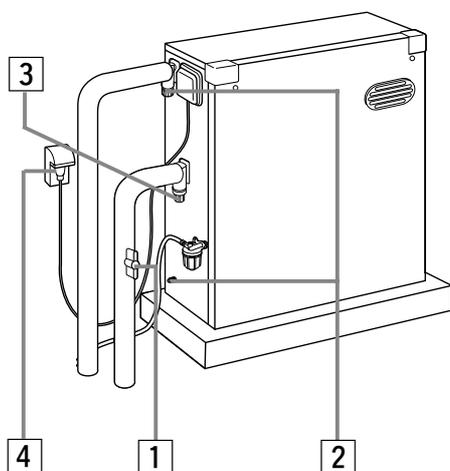
やけど予防のために

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。

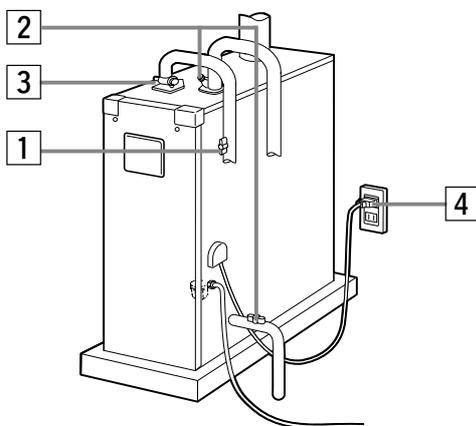
1. 送油バルブを閉める。
2. 給水元栓①を閉める。
3. すべての給湯栓を全開にする。
4. 水抜き栓②を左に回して開ける。(屋内設置形の場合は、排水栓も開ける)
5. 水抜き栓(フィルター付)③を左に回して開け、外す。
6. 5の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓②(2カ所)と水抜き栓(フィルター付)③およびすべての給湯栓を閉める。
7. 運転スイッチを「切」にする。
8. 電源プラグ④を抜く。



【屋外設置形】



【屋内設置形】



イラストはOQB-407F,307Fですが、OQB-407FF,307FFも同様です

再使用のとき

P11「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

日常の点検・手入れのしかた-1

やけど予防のために

お湯の使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてから作業してください。

点 検 (月1回程度)

チェック

警告 (給)排気筒外れ危険



排気筒・給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、穴があいていないか点検してください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

チェック

注意 排気口・トップ周辺の確認



排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

チェック

機器・配管から水漏れはありませんか？

<水漏れのある場合>

1. 給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3. 販売店または、弊社窓口へ連絡する。

チェック

* 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？

* 機器の外観に、異常な変色やキズはありませんか？

チェック

排気口・給気口がほこりなどでふさがっていませんか？

機器の側面や後面にある細長い穴は給気口です。

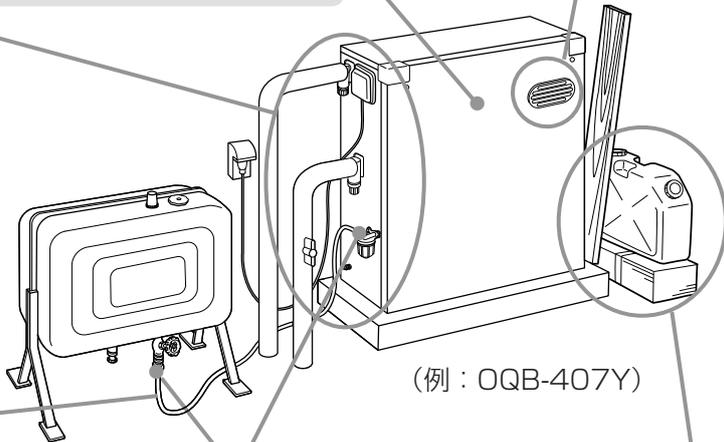
チェック

【屋内設置形の場合】

ゴム製送油管にひび割れが生じていないか確認してください。(年に1回程度)

<ひび割れがあった場合>

販売店または、弊社窓口へ交換を依頼する。(交換の目安は、3年に1回です)



チェック

注意 油漏れ注意



オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。油漏れにより、火災の原因になります。

<油漏れのある場合>

1. 送油バルブを閉める。
2. 運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3. 販売店または、弊社窓口へ連絡する。

チェック

注意 可燃物禁止



機器の上や周囲に燃えやすい物(紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など)を置かないでください。火災のおそれがあります。

日常の点検・手入れのしかた-2

お手入れ(定期的)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気を拭きとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面の汚れは、湿った布で拭いてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコンは防水タイプではありません。)

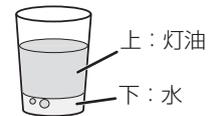
オイルタンク

オイルタンクに水が混ざると、オイルタンク内部のさび発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的には水抜きをしてください。

1. オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。
2. ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200cc排水する。
3. 容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200cc排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。
※分離していなければ、水は混ざっていません。
4. 水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。
出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。



<分離している状態>

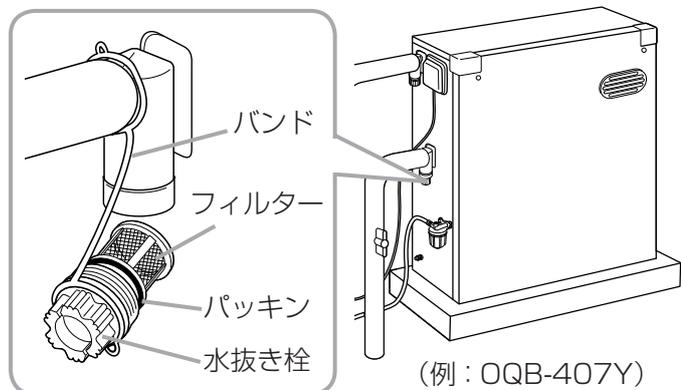


水抜き栓のフィルター

フィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を外す。(※1)
4. 水抜き栓を配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。

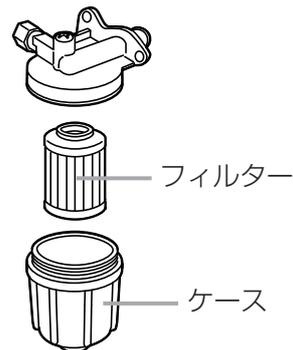
(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターのパッキンをなくさないように注意してください。

オイルストレーナ

オイルストレーナにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。わからないときは販売店にご相談ください。

【屋外設置形の場合】

1. オイルタンクの送油バルブを閉じる。
2. オイルストレーナの下に、送油経路内の灯油を受ける容器を置く。
3. ケースを左に回して外す。
4. フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
(汚れのひどいときはフィルターを交換してください)
5. 元どおり取り付け。
6. 油漏れのないことを確認する。



【屋内設置形の場合】

オイルストレーナは機器内にあるため、定期的に販売店に点検を依頼してください。

定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。1年に1回程度、販売店または、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

故障・異常の見分けかたと処置方法-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯にならない	<ul style="list-style-type: none">* 運転スイッチは「入」になっていますか？* オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？* 灯油がなくなっていないですか？ ☞ 灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。* 送油経路に空気が残っている。(☞P10)* 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？(☞P22)
給湯栓を開いてもお湯(水)が出てこない	<ul style="list-style-type: none">* 断水していませんか？* 凍結していませんか？
設定温度のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">* 給湯栓は充分開いていますか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	<ul style="list-style-type: none">* 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">* オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？* 温度設定は適切ですか？(☞P12,13)* 夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">* オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？* 温度設定は適切ですか？(☞P12,13)* 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	<ul style="list-style-type: none">* 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3ℓ以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none">* 浴室リモコンがある場合、操作しているリモコンに優先切替していますか？(☞P13)
設定したお湯はり温度にならない	<ul style="list-style-type: none">* 前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">* 停電していませんか？* 電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0:00」になっている	<ul style="list-style-type: none">* 停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0:00」になることがありますので、再設定してください。(☞P16)

(つづき)

リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	* 機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(表示の節電☞P18) 使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチ動作をしない (例) 運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていないなど...	<呼び出しスイッチ以外のスイッチの場合> * 表示の節電中にスイッチを押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
表示の節電の状態にならない	* 表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P18) * 温度を60℃、75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 * 台所リモコンの場合、時計表示をしているときは、表示の節電はしません。 * 運転ランプが点滅して、「LL」表示が出ていませんか？(☞P27)
燃焼ランプが点灯したり消灯したりする	* しくみ上、断続的に燃焼したり消火したりします。 故障ではありません。

「音」に関すること

運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり給湯栓を閉めたとき、温度を変更したときなどに、モータが動く音(ウィン、ウィン)がする	* 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
お湯を出したとき、止めたときに「パキ、パキ」と音がする	* 熱交換器内の圧力が上がると、一時的に熱交換器内の温度が上昇するため、音がします。異常ではありません。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない	* お湯はりブザーは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。 * お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりブザーは鳴りません。
運転中に時々「カチッ」音がする	* 製品の機能上(しくみ)であり、異常ではありません。
運転中に時々「ビー」音がする	* 灯油をくみ上げるために、くみ上げポンプが作動している音です。

故障・異常の見分けかたと処置方法-2

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none">*お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。*お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとたくさん出すように機器側で制御します。*給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。
お湯の出が悪くなった	<ul style="list-style-type: none">*水抜き栓のフィルターにゴミが詰まっていませんか？ (☞P22)

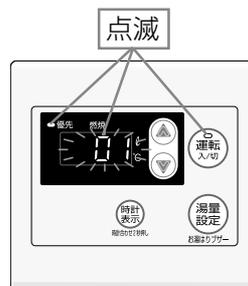
その他

使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none">*オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？*給湯栓は充分開いていますか？*灯油がなくなっていないですか？ ☞灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。
寒い日に排気口・(給)排気筒トップから白い煙が出る	<ul style="list-style-type: none">*冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none">*水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
機器の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間、出ることがある	<ul style="list-style-type: none">*機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	<ul style="list-style-type: none">*水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。
下表に応じた処置をしてください。

例：《01》を表示したとき、右図のような
点滅をくりかえします。



(台所リモコンの例)

表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転をいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
10	対震自動消火装置の作動	運転をいったん「切」にして再度「入」にし、表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は、機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
11、12	燃焼制御装置の非検知	運転をいったん「切」にして再度「入」にし、表示が出なければ正常です。
16	給湯出力異常	
88	長期にわたり、機器を使用した場合にお知らせします(故障ではありません)	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらきました。使用はできませんが、安全のため点検(有料)を依頼してください。 依頼先：0120-026-884(受付時間/365日 8:00~21:00)
LL	<オプションの給油検知装置を付けている場合> オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。 残油量が多いのに表示が出る、または残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。 (P28)
※給油検知装置を付けている場合のみ表示します ※運転スイッチ「切」時に表示します		

— 以下の場合、販売店または、弊社窓口にご連絡ください —

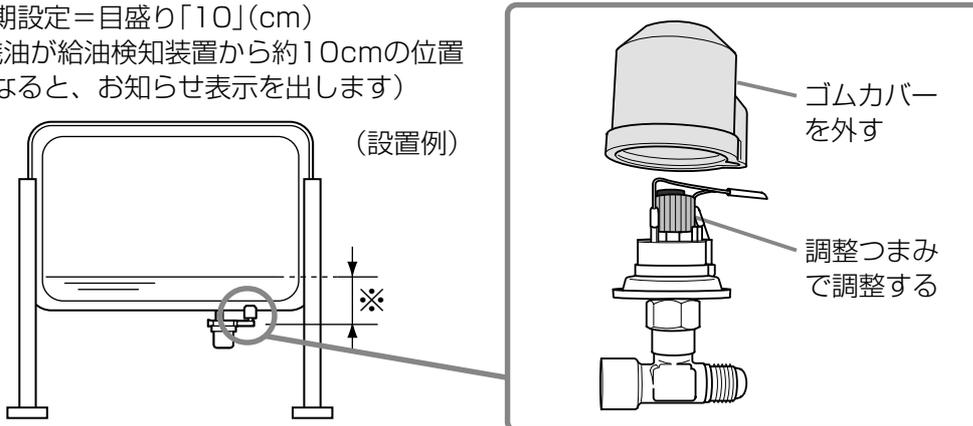
- ・ 上記以外の表示 (例：51 など) が出るとき
- ・ 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・ その他、わからないとき

故障・異常の見分けかたと処置方法-3

給油検知装置(別売品)の調整方法

オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置が付いています。
設定した残油量になると、「LL」と表示しリモコンでお知らせします。

※初期設定=目盛り「10」(cm)
(残油が給油検知装置から約10cmの位置になると、お知らせ表示を出します)

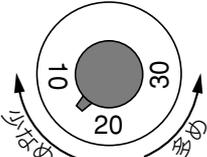


(設置例)

1. ゴムカバーを外し、調整つまみを回して調整してください。
2. 調整後は確実にゴムカバーを取り付けてください。

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回してください。(残油量が少なめで表示が出ます)

【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回してください。(残油量が多めで表示が出ます)



- 送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。
(空気抜きのしかたP10)
- 給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者 [(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など] の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

変質灯油・不純灯油・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ(制御弁SET)、ノズル、オイルストレナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	バイパス水量サーボ、水量サーボ

仕様

製品名	QQB-407Y	QQB-407YS	QQB-307Y	QQB-307YS
型式の呼び	QQB-407Y(QQB-407YA)	QQB-407YS(QQB-407YA)	QQB-307Y	QQB-307YS(QQB-307Y)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式		
	給排気方式	屋外用開放形		
	給水方式	水道直結式		
	加熱形態	瞬間形		
点火方式	高圧放電式			
使用燃料	灯油(JIS 1号灯油)			
燃料消費量	54.1kW(5.3L/h)		41.9kW(4.1L/h)	
連続給湯効率<%>	86.0			
連続給湯出力<kW>	46.5		36.0	
熱交換器容量<L>	0.7			
使用圧力<Mpa>	1以下			
外形寸法<mm>	高さ650×幅495×奥行250			
質量<kg>	31			
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz			
定格消費電力<W>	点火時	100/95		80/70
	燃焼時	85/85		70/70
待機消費電力	2.8W			
排気温度	260℃以下			
騒音レベル(Aレンジ)<d B>	48		46	
安全装置	対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、油漏れ検知装置			
その他の装置	空だき安全装置、凍結予防ヒータ、温度ヒューズ			

製品名	QQB-407F	QQB-407FF	QQB-307F	QQB-307FF
型式の呼び	QQB-407F	QQB-407FF	QQB-307F	QQB-307FF
種類	燃焼方式	圧力噴霧式		
	給排気方式	・屋内外兼用 半密閉式強制排気形 ・屋外用開放形	・屋内用 密閉式強制給排気形	・屋内外兼用 半密閉式強制排気形 ・屋外用開放形
	給水方式	水道直結式		
	加熱形態	瞬間形		
点火方式	高圧放電式			
使用燃料	灯油(JIS 1号灯油)			
燃料消費量	54.1kW(5.3L/h)		41.9kW(4.1L/h)	
連続給湯効率<%>	86.0			
連続給湯出力<kW>	46.5		36.0	
熱交換器容量<L>	0.7			
使用圧力<Mpa>	1以下			
外形寸法<mm>	高さ770×幅250×奥行530			
質量<kg>	34	35	34	35
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz			
定格消費電力<W>	点火時	95/90	80/75	80/75
	燃焼時	85/85		70/70
待機消費電力	2.8W			
排気筒の呼び径	φ106mm	—	φ106mm	—
給排気筒の型式の呼び	—	FF-101A	—	FF-101A
給排気筒の呼び径	—	D80	—	D80
給排気筒の壁貫通部の孔径	—	φ120mm	—	φ120mm
排気温度	260℃以下			
騒音レベル(Aレンジ)<d B>	48		46	
安全装置	対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、油漏れ検知装置			
その他の装置	空だき安全装置、凍結予防ヒータ、温度ヒューズ			

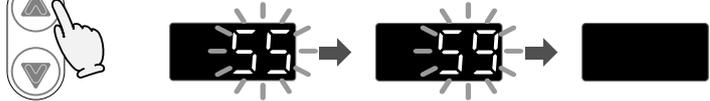
アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P24～28「故障・異常の見分けかたと処置方法」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

製品名 …………… 本体正面左に貼付の銘板をご覧ください
機種コード …………… 下記の要領で、リモコンで4ケタの機種コードをお調べください

1 運転スイッチを「切」にする 	2 設定スイッチ(上)を 2秒 押す 画面表示のしかた(機種コード「5559」の例) ※この機種コードをお知らせください。  運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。
---	---

お買い上げ日 …………… 保証書をご覧ください
異常の状況 …………… 故障表示など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

据え付け

〈試運転については、工事説明書をご覧ください〉

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のため必ずお守りください」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準設置図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のため必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にて修理をご依頼ください。

お客さま	ご芳名	様	製品名	QQB-407Y
	ご住所			QQB-407YS
販売店	店名	扱者印		QQB-407F
	住所			QQB-407FF
	電話番号			QQB-307Y
お買い上げ日		平成 年 月 日		QQB-307YS
				QQB-307F
				QQB-307FF

〈保証対象部分・保証期間〉

1. 保証対象部分：機器本体(リモコン含む)
2. 保証期間：お買い上げ日より1年間。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。
熱交換器・・・3年間(漏水は5年間)、機器本体内の電装基板・・・5年間

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社窓口が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - (3) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - (4) 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - (5) 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - (6) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - (7) 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - (8) 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - (9) 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - (10) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (11) 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - (12) 本書のご提示がない場合。
 - (13) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 **株式会社ノーリツ** 神戸市中央区江戸町93番地

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2. 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての
お問い合わせは・・・

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-910 (通話料がかかります)

コンタクトセンターにおかけただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

① 修理の受付・故障に関するお問い合わせ

■修理受付センター

365日24時間 修理受付

※修理訪問は日中、地域により休日有り

FAX 078-928-4831

② 点検・所有者情報に関するお問い合わせ

■点検センター

【受付時間】〈平日〉9:00~17:30

③ 商品に関するお問い合わせ・その他

■お客さま相談センター

【受付時間】 ※年末年始を除く

〈平日〉 9:00~18:00

〈土曜・日曜・祝日〉9:00~17:00

FAX 078-921-5656

リモコンの表示画面に「88」または「888」が点滅する場合は

専用窓口 0120-026-884 (365日 8:00~21:00)

個人情報の 取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。 ■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。 ■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合(3)法令等にもとづく場合 ■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当(TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00~17:00)にご連絡願います。

(200514)